

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	法の支配・海洋法秩序確立促進拠出金（任意拠出金）		担当部局庁	国際法局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	国際法課		課長 小林賢一	
会計区分	一般会計		施策名	国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の外交政策の柱の1つである国際社会における法の支配・海洋法秩序の確立促進に資する活動を行っている国際機関(国連法務部、海事・海洋法課等)への拠出により、国際機関の関連会合の開催の支援や、国連事務局・国際機関による能力形成のためのセミナーの開催や個別プロジェクトの実施の支援を行い、我が国の国益に資する形での国際法秩序の形成、ルールメイキングを促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国連海洋法条約の遵守及び実施を促進するために、特に開発途上国の代表の関連国際機関の会合への出席を財政的に支援するほか、関連国際機関や国連法務部海事・海洋法課が実施する国際法秩序の形成、ルールメイキング等個別プロジェクトの実施について財政的に支援する(平成23年度は、①大陸棚限界委員会途上国委員会議参加支援信託基金及び②国際海底機構深海海洋科学的調査協力基金への拠出)。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算			28	29	32
		補正予算			—	—	
		繰越し等			—	—	
	計			28	29		
	執行額			28			
執行率(%)			100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	国際機関の関連会合の開催の支援や国連事務局・国際機関による能力形成のためのセミナー開催や個別プロジェクト実施支援。		成果実績 ①CLCS会合件数 ②国際海底機構実施プログラム数			①5 ②2	①3 ②3
	達成度		%			①100% ②100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①大陸棚限界委員会での各国からの大陸棚申請への審査に要する会合の開催 ②途上国の研究者への研修機会の提供		活動実績(当初見込み)			①5 ②2	— ()
	①CLCS会合予定件数 ②国際海底機構研修プログラム予定数						
単位当たりコスト	①139万円 ②1名の研修のためにかかるコスト5千ドル		算出根拠	①27,703千円÷20回(平成23年度拠出額÷途上国委員延出張回数) ②国際海底機構 2件のプログラム InterRidgeを通じた研修(9名) 計45千ドル Rhodes Academy を通じた研修(6名以上) 計30千ドル			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	その他(人件費、旅費、事務運営等)	29	32				
	計	29	32				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	目的・予算執行については、効率的・適正に処理されている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	資金の流れ、費目等特に問題なし。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	着実に事業を実施し、成果を挙げている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	大陸棚限界委員会委員はこれまでも審査作業の効率化に努力してきているところであり、我が国として評価している。申請件数の急増にもなって委員会の作業量が増加し、審査会合も増えてきている状況があり、途上国委員の会合参加経費を支援することを目的とする本件信託基金について、これ以上の合理化は困難な状況にある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	7